新たな社会人学生の学習を支援するシステム

社会人を必要とする理由

- 少子化により18歳人口減少（全入学時代）
  →学生確保が困難
- 大学存続をかけて、新たな受験者を集める必要性
  →社会人（就労者）をターゲットに

社会人が求めるニーズ

- 社会人（就労者）
  - 最新の情報がほしい
  - 人脈作り
  - スキルUP

何故、社会人が来ないのか

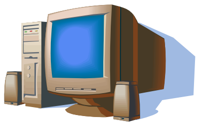
社会人受入の問題点

- 社会人側
  - 時間がない、仕事による急な欠席
  - 通学の負担
  - 社会人学生への周りの理解が低い

- 大学側
  - 授業時間の夜間・土日開講による負担
  - 教職員の勤務負担の増加

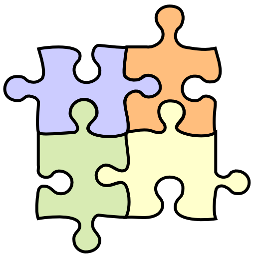
必要な環境

- 仕事と両立できるシステム
  →時間・場所・学費を解決したい
  - 長期履修制度
  - 学習フォローアップシステム



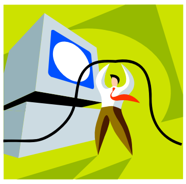
長期履修制度

- 修士課程を最長4年で修了する制度
- 授業料は2年分ですむ
  - 既に一部大学で導入済
  - 要件：就労者に限る（証明書等で対応、履修計画申請）



学習フォローアップシステム

- ✓ あくまでも登校してもらうことが前提
- 事前出席確認申請システム
- e-ラーニング
  - 欠席した授業の映像を再生するシステム
  - 双方向通信による遠隔授業
  - Webテスト（到達度確認、小テスト）
- レポート提出システム
- コミュニティーサイト
  - 質問BOX
  - 学習履歴記録（PDCA活用）



総括

- システムや制度の拡充によって、社会人学生の受け入れ体制が整えば、志願者も増える（はず）
  - 将来的には学部にも応用できるようにしたい
    - 高校からの進学者と社会人との交流による好影響
      - 社会観、仕事観の養成
      - モチベーション向上による学力UP